

# ポッポだより 10月号

土佐町教育委員会（子育て支援センター）

☎ 82-0483 （担当 川村）

保育園に行っていないお子さんと保護者の方を対象に、気軽に遊べる場所を提供し、いろいろな遊びを一緒に楽しみながら、親子のふれあいや交流をたのしめます。

◇遊びの場、交流の場 《ポッポ広場》

月曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
火曜日	町立図書館ホール（田井支所横）	（9：00～11：30）
水曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
木曜日	体験保育（みつば保育園）	（9：00～11：00）
	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）
金曜日	保健福祉センター（母子室）	（9：00～15：00）

## 10月の予定

10/5（土）	みつば保育園運動会
10/18（金）	愛育相談・離乳食教室
10/23（水）	子育て講座「親子のコミュニケーションづくり」講師：Uプロジェクト（親子のふれあいやコミュニケーションが楽しくなる遊び）
10/24（木）	1歳・1歳6か月健診
10/25（金）	ミニお話会
10/29（火）	子育てカフェ（場所：トキワ苑）
10/31（木）	高知県東部地区子育て支援担当者研修交流会 （他の町からポッポ広場の見学に来ます。）

【今月の絵本】 「くーちゃんのくつした」 山田ゆみ子作

ぽいっとどこかへ行ってしまった「くつした」が、いろいろな動物の手を経て、最終的に元に戻ってくるという王道の作り。歌うようなリズム感がいい。



『乳幼児の応急手当講習』が行われました。子どもの具合が悪くなったら・・・と言う想定で実際にAEDを使ったり、心臓マッサージや119番通報をして消防士さんとのやり取りを行ったりの訓練でした。実際に起こったらパニックになってしまうと思うので、実技訓練をする事で少しでも落ち着いて行動できるようになっておきたいです。



椅子に座って絵本を見られるようになってきたよ。  
みんな真剣にお話を聞いています^^

### かんしゃくは成長のあらわれ

2歳の子どもたちは、強く自己主張をするために、それが大人の都合とぶつかった場合には、かんしゃくをおこしてしまうこともしばしばです。この時期になると、言葉もかなり話せるようになっていきますから、大人はつい理屈で説明して何とか納得させようとしてしまいがちです。あるいは子どもに説明させようとして「泣いていないで、お口で言ってごらん」ということもあるでしょう。けれども、言葉の力がついてきたとはいえ、自分の気持ちを表現することはまだまだ難しいのが2歳の子どもたちです。むしろ自分の欲求が受け入れられない事で、自分の泣き声に励まされるように、興奮がどんどん高まってくるようです。こんな時には、まず「そうか、帰りたくないのね」「そう、こっちに行きたいのね」と、子どもの気持ちをすくって受け止めてあげると、子どもは落ち着いてくるようです。そうすることで、次第に自分の気持ちにおさまりがつき、周囲の状況にも意識が向くようになります。子どもたちは自分の気持ちを受け止めてもらいながら、自分の欲求を表現しながらも、我を通すのではなく、まわりと折り合いをつけるための力を獲得していきます。

「発達の道すじにそった絵本の選び方」 瀧 薫 より